区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(西区) 平成27年度 豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針 めざす成果および戦略 自己評価 計画 戦略のアウトカムに 対する有効性 戦略の 進捗状況 項目 成果指標と目標値 個別 全体 今後の対応方向 めざす状態 戦略 課題 アウトカム アウトカムの達成状況 前年度 A·順調 改善策 ア:有効であり、継続して推進 :有効でないため、戦略を見直す B:順調でない 「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて (1) 豊かなコミュニティの実現 [1-2] マンション住民がマンション内でのコミュニティは 日頃から親しく話をする相手や相談する相手が 防災や子育てを通じ、マンション内のコミュニ もとより、地域住民とも気軽に交流でき、核家族 増えたと感じているマンション住民の割合:平成 ディづくりを支援するとともに、マンション住民とであっても住民同士のつながりのもと、孤立化 27年度までに60%以上 27年度までに60%以上 3ことなく子育でや日くの生活を安心して送ることができ、地域活動にも積極的に参加でき 特に人口流入が多い地域において、住民同士が気軽に交流し、地域とつながるように、マンション管理組合を通じた幅広い啓発を行うなど、子育てや防災をきっかけにマンション内のコミュニティづくりが必要である。 マンション住民と地域をつなぐための支援を行う。 未測定(出前講座(防災)でマンショ 不過度(山前調度(切次)でマンタョン内の避難計画策定に向けた住民 同士の交流が行われ、にっしー広場 参加者が地域子育てサークルとつな がる地域も増加しており、つながりづ (りは順調である) | 9近な地域の中で「声かけ」、「見守 | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | 12.9 | | ・災害時の初期初動体制を強化し、自助・共助の意識向上を図るなど、災害時に強いまちづくの意識向上を図るなど、災害時に強いまちづくりを推進していく必要がある。
・災害時に迅速な避難や初期で指していく必要がある。 家庭で防災対策を講じている区民の ⑦ 人と人とのつながりづくり の促進 自助・共助の意識向上をすすめる。 ・小中学校を中心とした少年期からの防災意識 や災害対応知識の向上を図る。 ているなど、多くの区民の命を災害から守ること ができる。 ア [2-4]
14校区等地域ですべての住民が健康を保持・ 増進し、積極的に社会参加できるような地域ぐ るみの取り組みを行うとともに、援護を必要とし している反民の割合:平成27年度までに60%以 関への連絡調整、地域での支え合い(「大阪市 地域福祉推進指針」から)が行えている。

重点目標 地域福祉に関する活動がそれぞれの地域で地 域活動協議会が主体になり進められていると感 。高齢者・障がい者見守りの強化のため、地域 している区民の割合:平成27年度までに60%以 福祉活動の担い手に対する支援を進める。 「福祉活動の担い手に対する支援を進める。 ・地域福祉活動の担い手が不足しており、一部の区民に負担が掛かっている。また、活動を開 区民になりりの地域もあり、担い手の育成が必要である。 地域福祉に関する活動がそれぞれ

の地域で地域活動協議会が主体に なり進められていると感じている区民 の割合(推計):62.7%

未測定

ア

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(西区) 豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針

		成来白標の建成に同じ		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				平成27年度				
	豆 1	/成に同けた匹威是日本年/	7 3 22 1					具体的取組				
					計	十画				自己評価		
	項目	成果指標と目標値	直	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの 実績	取組実績	業績目標の達成状況  :目標達成 ( )取組は予定さおり実施 ( )取組を予定されなかった :目標未達成 ( )取組を予えしまり実施 ( )取組を予え施しなかった 施しなかった : 搬退番準未達成	:有効	課題	改善策
1	「大きな公共を担う活力ある	5地域社会づくり」に向けて										
(1	豊かなコミュニティの実現			[1-2-1]								
				新築マンションを中心に警察や消防と連携し、防災や防犯の出前請座などの答発をきっかけとしたアプローチで、マンション内コミュニティづくりを促進する。・出前請座や防災訓練をきっかけに地域とのつながりや地域活動への参加を促し、地域とのコミュニティづくりを支援する。・新築マンションの人居前時点でのアプローチ手法を蓄積し、新築マンションへのコミュニティづくりに活用する。	とができたマンションの数:1ヶ所以上	地域へつなぐことができなかった場合、 事業を再構築する。	平成26年度実績 ・出前講座 2回開催(9月末現在) ・新築マンションにおける防災訓練・イベントの実施 1ヶ所(予定)	・マンション自治会への出前講座(1回)・につしー広場等において出前講座等の啓発(3回)・マンションコミュニティづ(りに向け、マンション管理組合と行政機関(区役所、西警察書、西消防署)との意見交換会の実施(11月)		)	果、マンション内の防災に対する意識 の向上やマンション内コミュニティの必 要性等について気運が高まっているも	
				[1-2-2] ・乳幼児健診などの機会や各地域の民生委員を通じてマンションにおける子育で支援の周知をおこない、「こっし一広場、(10回以上)の出前開催を希望するマンションを募る。加えて、子育で世帯が多く、開催可能な集会室等のあるマンションを選定し、管理組合又は理事会等に事業の説明活をおこない、開催に向けて積極的に知る形を展別していく。参加者に対して、地域での様々な取組みを紹介するとともに、子育でサロン等への参加を促す。	域の子育てサークル(サロン)に参加する	目標が3ヵ所以下であれば、事業手法を 再構築する。	平成26年度実績 ・にっしー広場開催 6回(9月末現在) 平成25年度実績 ・にっしー広場開催 14回	・にっしー広場開催件数:10回 地域子育でサークルを運営している民生委員・主任児童委員の参加:21名 ・地域子育でサークルに参加したことが確認できたマンション:4か所・「にっしー広場の周知ポスターを区内広報板に掲示。「にっしー広場。参加者に、情報誌やチラシ等により地域の子育てに関する情報提供を行い、地域子育でサークル等への参加を促した。	が確認できたマンション:4か所	)	上げることも必要(区政会議での意見) である。 ・参加者が「にっしー広場」を通して「顔 見知り」になり、マンション内のコミュニ ティは広がりつつある。さらに地域の子	・マンションの理事長あて、事業の紹介を行うなど、今までと異なった視点から事業の周知を行う。・・子育てサークルのメンバーと参加者が「顔見知り」になることが、地域とのつながりの第一歩、地域子育でサークルの長各種分野のメンバーの参加を促しながら難続して取り組む。
	人と人とのつながりづくり の促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守 り」、「助け合い」、「支え合い」を実感 している区民の割合	H 2 9年度まで に50%以上	[2-2-1] ・避難所となる小学校区単位での自主防災組織による避難所開設訓練を行う。(8回) ・自主防災組織における「要援護者支援計画」の策定を始め、要援護者名簿の受け入れ体制で(りを支援する。・「災害時地域協力貢献事業所」が災害時に協力できる資機材の提供など、具体的な協力内容に関する情報を整理する。・津波避難ビルの拡充を図るとともに、確保波避れた津川以西の地域において有効な避難方法を検討する。・通学路を中心に浸水深サイン(浸水どうぶつものさし)を拡充する。	自主防災組織による避難所開設訓練が できた校区等地域数:14校区等地域	目標が12校区等地域以下であれば、事業手法を再構築する。	平成26年度実績 ・小学校の土曜授業と連携した地域の訓練、12校区等地域 ・「災害時協力貢献事業所・店舗,の協力内容の確認 17件 ・新築マンションにおける防災イベントの実施 1回 ・津波避難ビルの協定締結 9件 ・浸水深サイン(浸水どうぶつものさし)の拡充 33施設設置	1中学校	訓練の実施:13地域	)		
				[2-4-2] ・「(仮称)地域における要据護者の見守リネットワーク強化事業(福祉局区(M予算額14665千円)」で、要提護者名簿整備にれまでに作成した更援護者名簿の拡充)と、福祉専門職のワーカーによる孤立世帯等への専門的ワか応、徘徊認知症高齢者保護の強化などにより、地域における見守リネットワークを充実する。・「高齢者・障がい者の孤立を防ぎ、地域とのつながりを作っていくため見守リコーディネーターを配置し、整備された要援護者名簿により、見守り対象者を広げ、相談、訪問、情報提供を行う。	る情報提供回数(14地区計):14,850件 (26年度目標の1割増)以上	目標が80%以下であれば、事業手法を再構築する。	平成27年度新規事業(区政充実のため の重点経費事業)に合わせて、再構築 平成25年度実績 要接護者名簿作成822件、情報提供、 12,232件、関係機関調整会議326件、個 別ケース会議9件、連絡会議172件、研修 103件		による情報提供回数(14地区計):	)		地域の見守り組織の構築と継続的な運営のサポートのために、福祉専門職による専門的支援を実施する。

		成果目標の達成に向 成に向けた区政運営基本		水流にプロ(四区)				平成27年度					
			,,,,,		計画		<u> </u>	す成果および戦略			自己評価		
(2)	項目 タ様な主体の協働(マルチ	成果指標と目標値	直	めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに 対する有効性 ア: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、戦略を見直す	アウトカムの達成状況	前年度	個別 全体 A:順調 B:順調でない	戦略の 進捗状況 a:順調 b:順調でない	課題	今後の対応方向 ・ 改善策
	地域活動協議会を核とし う た自立した地域運営の支	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自らがは課題の解決に 取り組むなど、地域が自律的に運ぎ	H29年度まで に	[1-1] 地域活動協議会において地域の各種団体が連携協働して、民主的で開かれた地域運営と会計の透明性を確保し、自律的に運営している		・地域の各種団体やNPO、企業等の各主体が、地域社会の将来像を共有し地域の多様な意見を聞きながら、それぞれが特性を発揮して、活動の透明性を確保しつ力、さまざまな地域課題に取り組み自律的に地域運営ができる仕組みづくりを支援する。 ・地域活動に関心のある人たちや地域活動に関わりが薄かった人たちが活動できる機会や場の拡充、地域の人材と地域で求められている活動のマッチングなどのコーディネートを積極的に行う。	7'	未測定(地域が自律的に運営されていると感じる区民の割合が85.7%あり、地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援が有効であると考えられる)		A A	a	地域活動協議会の組織運営については順調に 進んでいるものの、地域活動協議会の地域活 動への区氏の参加割合はまだ低〈、継続して取 組み支援が必要である。	かった人たちに向けて地域課題への取組みや
_		されていると感じている区民の割合		るみの取組みを行うとともに、援護を必要として	重点目標 地域福祉に関する活動がそれぞれの地域で地 域活動協議会が主体になり進められていると感	・高齢者・障がい者見守りの強化のため、地域		地域福祉に関する活動がそれぞれ の地域で地域活動協議会が主体に なり進められていると感じている区民				・地域福祉活動の担い手が不足しており、一部 の区民に負担が掛かっている。また、活動を開 始したばかりの地域もあり、担い手の育成が必	・地域における福祉活動への理解・協力を広く 区民に求め、担い手としての参加を促すととも に、地域福祉活動に対する支援を充実してい
				への連絡調整 地域での支え合い(「大阪市地域福祉推進指針」から)」が行えている。	じている区民の割合:平成27年度までに60%以上 ・地域企業や商店街が元気になってきつつある		ア	の割合(推計):62.7% 西区が活性化し、地域企業や商店街	未測定	A A	a	要である。 ・戦略の進捗は順調である。しかし、各団体が	・地域実情に応じたエリアマネジメントの取り組
6	校区等地域を越えた多様 ① な主体のネットワーク拡充 の支援	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合	H29年度まで に 50%以上	ランド創出の基盤ができており、地域の活力が アップしている。 [3-2]	と感じる区民の割合:平成27年度までに60%以上	地域団体が連携し、地域課題の解決や住民同士の交流など地域の活力向上をめざした取り組みを進める。	1	が元気になってきつつあると感じる区 民の割合:28%	15%	В	a	行う地域課題解決の取り組みについて、そのエリアが限られており区全体に浸透しにくい状況にある。	
				・公園やリパーフロント等地域資源を活かして、 にぎわいの場が生まれている。	・歴史文化的な建造物、公園、水辺など地域資源を活用したまちづくり活動が、地域団体やNPO、企業 ポランティアグループなど様々なメンバーの連携 協働により、地域に定着しつつあると感じる区民の割合:平成27年度までに80%以上	区の魅力としてブランド力向上や地域コミュニティの活性化につなげるため区民と協働した取組みを進めるとともに、全市的な関心を高める		地域団体や市民、NPO、企業など様々な方々が連携し、協働することによって、まちづくりに関する活動が進められていると感じる区民の割合:19%	21%	В	b		

		が成来日標の建成に向け 形成に向けた区政運営基本7						平成27年度 具体的取組				
						<u> </u>		会 体 的 松 粒		自己評価		
	項目	成果指標と目標値	<u> </u>	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの 実績	取組実績	業績目標の達成状  :目標達成()取組は予定どおり実施() しなかった :目標未達成()取組は予定どおり実施(施なかった : 搬場基準未達成	双組を予定どおり実施:右効	課題	改善策
( 2	) 多様な主体の協働(マル	チパートナーシップ) の実現		[1-1-1]								
		校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合 意意を形成し自ら地域課題の解決に 取り組むなど、地域が自律的に運営 されていると感じている区民の割合	H29年度まで に 50%以上	自律的な地域運営を積極的に推進する			平成26年度実績 ・地域活動協議会の運営を支援するため、中間支援組織のまちづ(り支援員を地域の活動拠点に配置した。・各地域活動協議会間で活動の課題等を共有できる場として「地域づ(り)、をテーマとしたワークショップ形式のセミナーの実施し、また地域活動協議の世紀、「各地域に動協議会の規約・構成団体や事業、活動協議会の列線が・構成団体や事業、施計画、補助金の便途、活動の公開、お助らせを掲出した。・地域の情報発信を支援するため、各地域活動協議会のフェイスブック立ち上は域活動協議会のフェイスブック立ち上、大、中間支援組織を活用して、広報勉強会を実施した。	・地域活動協議会デーマ別勉強会を開催した(6回) 住民の地域活動への参加促進ため、 広報紙や区HP、区役所庁舎において 地域活動を紹介した。 ・補助金の実績報告を区Pに掲載した。 ・地域広報運営の支援を行った(広報 実施地域:10地域) ・地域活動協議会情報共有会を開催し		( )		
							・「てをつなごう!」参加者574名、ボラン ティア100名、参加団体41団体 ・「そよかぜまつり」(11月23日実施予定) ・交流の場、情報共有の場であったと感 じる参加者・ボランティアの割合 67.5%	・「そよかぜまつり」12月19日開催、参加者960名、ポランティア140名、参加団体67団体 ・居場所づくり「立ち寄り処」区内3ヶ所で各月1回開催中	となったと感じる参加者の割合 72.7%、情報共有の場となったと感じ る参加者の割合100%	( )		
	校区等地域を越えた多様 ② な主体のネットワーク拡充 の支援		H29年度まで に 50%以上	と連携し、地域産業に関する魅力を情報発信するとともに、区民の地域産業への関いた事件では、		築する。	・ものづくり企業見学会を実施予定。	・H28.3月に企業見学、体験会を開催協力企業:2社 ・H27.10月に「にし恋マルシェ」を開催来場者数:3,000人	・「にし恋マルシェ」での「参加店舗の 再訪」についてのアンケート結果で、 「後日また行きたい」の回答が71%	( )		
							<ul><li>バラ祭で西区の魅力向上につながると</li></ul>	・H27.10月に「えほんpicnic」を開催。 (貸出受付者数:1,076人) ・靱公園では、ネットワーク組織「靱公	「西区の魅力向上につながるか」の アンケートでは、バラ祭では94%。え ほんpicnicでは96%の方から「つなが る」の回答を得た。	( )		

		以来日標の達成に回						平成27年度					
	豆川は地域性云の形	が成に向けた区政運営基本。 	/フェ!				めざ	す成果および戦略					
					計画						自己評価		
	項目	成果指標と目標値	直	L 32-4-11-645	7+1+1	Wilmer	戦略のアウトカムに 対する有効性			個別 全体	型 戦略の 進捗状況	Anna	今後の対応方向
				めざす状態	アウトカム	戦略	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	アウトカムの達成状況	前年度	A:順調 B:順調でない	a:順調 b:順調でない	課題	改善策
(3)	地域資源の循環												
T	)地域資源が活用されやす い仕組みづ⟨り	平成27年度中に地域資源に関する 情報が得られる仕組みを立ち上げ る。		[3-4] ・個性的な魅力あぶれるまちづくりの実現に向けて動き出していると感じる区民を増やす。	・地域住民に加え、企業やNPOなどがまちの活性化に協力し、区のイメージがさらに向上したと感じる区民の割合:平成27年度までに60%以上	ただくために、様々なステークホルダー(活動主	7	地域住民に加え、企業やNPOなどがまちの活性化に協力し、区のイメージがさらに向上したと感じる区民の割合:15%		ВВВ	b	様々な活動主体と区が連携して進めている取組み等の情報が区民に十分に伝わっておらず、区に対する理解を置着が喚起されていないものの、情報発信の手法を精査しながら地道に継ばすることにより、個性的な魅力あふれるまちづくりへの取組みに対する区民の理解につなげていく。	感してもらうため、区民アンケートや区政会議等 を活用し、区の情報発信に関する実態を調査・ 分析し、区民ニーズに応じた戦略的な情報発信 につながる取組みを実施する。また、情報誌が
æ	, 地域資源の循環による継 続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決や ニーズへの対応に向け住民が新た に取り組む継続的な活動(コミュニ ティ・ビジネス,ソーシャル・ビジネ ス)が創出された件数	H29年度まで に 1件以上		・地域企業や商店街が元気になってきつつある と感じる区民の割合:平成27年度までに60%以上		1	西区が活性化し、地域企業や商店街が元気になってきつつあると感じる区民の割合:28%		В	a	・戦略の進捗は順調である。しかし、各団体が 行う地域課題解決の取り組みについて、そのエ リアが限られており区全体に浸透しにくい状況 にある。	・地域実情に応じたエリアマネジメントの取り組 みを進める。
O	本市事務事業の社会的ビ ジネス化の推進	社会的ビジネス効果が見込まれる 事務事業件数	H29年度まで に 1件以上	[2-1] 安心して子育てが出来る環境を整える。	安心して子育てができる環境が整備されている と感じる区民の割合:平成27年度までに80%以 上	・安心して子育てできるよう身近な地域での相談や支援体制を充実するとともに、家庭における子育でを支援するため、子育でに関する情報提供の充実や、保護者やこども同土の交流機会を提供する。・働き続けることを希望する人が、仕事と出産・子育でを共に選択できる社会の実現に向けて、仕事と子育での両立を支援するため、小規模保育事業の充実・活用など多様なニーズに対応する保育サービスを充実する。・子育で支援を及び要保護児童対策地域協議会の機能強化に向け、関係機関との連携を強固にしていく。	7	安心して子育てができる環境が整備されていると感じる区民の割合:46%		ВВВ	b	の、具体的取り組みの多くは中間アウトカムの 目標値を上回っており、アウトカムは順調に推 移すると考えられる。	・安心してこどもを産み、育てられるように、妊娠期から子育で期にわたる切れ目のない相談体制を構築するとともに、子育で家庭のさまざまなニーズにきめ細かく対応できるよう、身近な地域である。で、ども青少年局と連携し、保育所整備にかかる調整を支援し、待機児童の解消につなげる。

豊かな地域社会の形	成に向けた区政運営基本に	方針					平成27年度				
							具体的取組 T				
				計	·画				自己評価		
項目	成果指標と目標値	<u> </u>	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの 実績	取組実績	業績目標の達成状  :目標達成()取組は予定さおり実施() :目標未達成()取組は予定さおり実施() 施しなかった ・ 撤収なかった ・ 撤収基準未達成	取組を予定どおり実施	課題	改善策
(3) 地域資源の循環								.加这至于不足戊			
⑦ 地域資源が活用されやすい仕組みづ(リ	平成27年度中に地域資源に関する 情報が得られる仕組みを立ち上げ る。	F S	(3-4-1)  広報紙等による区の魅力や地域情報など情報発信の強化 (区広報紙(毎月)、区ホームページ(随時)、区フェイスブック(月60件)、LINE (月4件)  (月4件)  (区の魅力を発信するためのスマートフォンアブリによるICTを活用した情報発信  (12回)  (区の魅力や多彩な人材を発信する情報  は「にっしー」を民間事業者と共同発行  (年2回)	区からの情報発信により区の魅力を知ることができたと感じる区民の割合:60%以上		·LINEによる発信48件	・区広報紙(毎月)、区ホームページ(随時)、区フェイスブック(月平均47件)、LINE(月平均6件)、スマートフォンアブリ(月1回)による情報発信・スマートフォンアブリ(月1回)による情報発信・スマートフォンアブリン・ステックでは、アイズラリーサイトを試験的に追加し、ビーコン機能等について検証するとともに、子育て支援サイトとして予防接種屋の管理機能を追加・ホームページの大パナーの作成や、広報紙ポスティング制度の周知及びアンケートなど、区民ニーズに応じた情報発信につながる取組みを実施(12回)・区の魅力や多彩な人材を発信する情報話「につしたで、区民間事業者と共同発発につながよりながよりながよりながよりながよりで表に関事業者と共同様にそれぞれ年2回)	知ることができたと感じる区民の割合:33%		·情報誌は概ね公表であるが、幅広〈区 民に届いていない。	力が、区民に届いていると実感してもらうため、情報発信にかかる区民ニーズについて、区民アンケートや区政会議等を活用して調査・分析し、区として会議等を活用して調査・分析し、区として発力では、事業手法の再構築を図る。・媒体別に利用実績を検証し、今後の動向や区民ニーズを十分に調査したうえて、各課と連携を窓にして各コンテン
④ 地域資源の循環による継 続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決や ニーズへの対応に向け住民が新た に取り組む継続的な活動しまュニ ティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネ ス)が創出された件数	lited VAA a. a. lited	[3-1-2] 「西区まちの活力創造プロジェクト」認定事での活力創造プロジェクト」認定事をとして「暮らした豊かにするビジネス東イデアコンテスト。(10回開催)を引き続き実施するとともに、優秀賞の事業を認定事業化に向け支援し、認定事業となった場合の広報支援などを行う。		た場合、事業を再構築する。		・「ビジネスアイデアコンテスト」を開催し 25件の応募があり、発表会では優秀 賞2件を選定した。			区内高校へのアプローチにより今年度は25件の応募があったものの、「西区まちの活力創造プロジェクト。認定事業やビジネスアイデアコンテスト。の知名度が十分でなく、コンテストへの参加促進を図る必要がある。	しやすいコンテスト)や広報の手段につ
	社会的ビジネス効果が見込まれる 事務事業件数	77 1 VIII 41	[2-1-3] 病気・病後における保育ニーズに対応するため、保育サービスの提供が確約されている訪問型病児保育(共済型)サービス(0歳から小学校3年生までのこども対象)を提供し、病児保育施設などでは十分に対応できない多様な区民ニーズに応える。		左記目標が月平均2.5人以下であれば、 事業手法を再構築する。		平成27年12月1日 訪問型病児保育 (共済型)事業開始	訪問型病児保育(共済型)の登録者数:月平均8人	( )	病児保育利用者にとって使い勝手のよいサービスになるよう工夫し、登録者を増やしていくことが必要である。	

	豊かな地域社会の形	成に向けた区政運営基本	方針					平成27年度					
	立いるで次に公の形	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 3 2 1				めざ	す成果および戦略					
					計画						自己評価		
	項目	成果指標と目標値	直	めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに 対する有効性	アウトカムの達成状況		個別 全体	世略の 進捗状況	課題	今後の対応方向
				のこ 9 仏窓	ZUNG	<b>干</b> 龙 ♥ロ	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	アクドガムの達成私流	前年度	A:順調 B:順調でない	a:順調 b:順調でない	<b>5</b> 木定豆	改善策
(4)	地域公共人材の充実と中間	間支援組織の活用											
				[1-1] 地域活動協議会において地域の各種団体が連携、協働して、民主的で開かれた地域運営と会計の透明性を確保し、自律的に運営している		・地域の各種団体やNPO、企業等の各主体が、地域社会の将来像を共有し地域の多様な意見を関きながら、それぞれが特性を発揮して、活動の透明性を確保しつつ、さまざまな地域課題に取り組み自律的に地域運営ができる仕組みづくりを支援する。・地域活動に関心のある人たちや地域活動に関わりが薄かった人たちが活動できる機会や場の拡充、地域の人材と地域で求められている活動のマッチングなどのコーディネートを積極的に行う。		未測定(地域が自律的に運営されて いると感じる区民の割合が85.7%あ り、地域活動協議会を核とした自律 した地域運営の支援が有効であると 考えられる)				進んでいるものの、地域活動協議会の地域活動への区民の参加割合はまだ低く、継続して取	地域活動に関心のある人たちやかかわりの薄かった人たちに向けて地域課題への取組みや地域活動への参加・参画が拡大していくことに重点を置いて支援を行なう。
9	プ 地域公共人材の充実と活 用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度まで に 50%以上				ア			A A	а		
		多様な活動主体が課題やニーズに	H20年度≠で	[1-1] 地域活動協議会において地域の各種団体が連 携、協働して、民主的で開かれた地域運営と会 計の透明性を確保し、自律的に運営している		・地域の各種団体やNPO、企業等の各主体が、地域社会の将来像を共有し地域の多様な意見を関きながら、それぞれが特性を発揮して、活動の透明性を確保しつつ、さまざまな地域課題に取り組み目律的に地域運営ができる仕組みづけを支援する、地域活動に関心のある人たちや地域活動に関わりが薄かった人たちが活動できる機会や場のなが、地域の人材と地域で求められている活動のマッチングなどのコーディネートを積極的に行う。		未測定(地域が自律的に運営されて いると感じる区民の割合が85.7%あ り、地域活動協議会を核とした自律 した地域運営の支援が有効であると 考えられる)				地域活動協議会の組織運営については順調に 進んでいるものの、地域活動協議会の地域活 動への区民の参加割合はまだ低く、継続して取 組み支援が必要である。	かった人たちに向けて地域課題への取組みや
4		タ体は心動工学が誘惑と一人に 応じて中間支援組織から支援を受け ていると感じている活動主体の割合	ΙΞ				ア			AAA	а		

			が来日標の達成に回		ACTION OF THE CONTRACT OF THE				平成27年度				
	豆かな地	地位云の	ジ成に向けた区政運営基本:	刀 並 l					具体的取組				
						言	†画			É	1己評価		
	項目		成果指標と目標値	1	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの 実績	取組実績	業績目標の達成状況  :目標達成()取組は予定どおり実施()取組を予定どおりましなかった。 :目標未達成()取組は予定どおり実施()取組を予定どおりまた。 ()取組を予定とおり実施()取組を予定とおりまた。 : 撤退なかった。 : 撤退基準未達成	: 有効	課題	改善策
(4)	地域公共。	人材の充実と中	間支援組織の活用										
	地域公共の促進	人材の充実と活	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度まで に 50%以上	11-1-1  自律的な地域運営を積極的に推進するため、中間支援組織と連携し、次の取組みを行う。 ・地域事情に精通したまちづくり支援員を、地域の野望に応じて地域の活動がら、地域が大人材制度などを活用しながら、地域が大人材制度などを活用しながら、地域が大人材制度などを活用しながら、地域が大人材制度などを活用しながら、地域が大人材制度などを活用しながら、地域が受け、活力を必要がある。一個の地域団体との連携や地域活動への住民の参加を登りで、出土の地域では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	に合った支援を行っていると感じる地域 活動協議会の数:11地域活動協議会以 上	ば、支援内容を再構築する。	平成26年度実績・地域活動協議会の運営を支援するため、中間支援組織のまちづり支援員を地域の活動拠点に配置した。各地域活動協議会間で活動の課題等を共有できる場として「地域づくり」をテーマとしたワークション形式のセミナーの実施し、また地域活動協議会情報共有会を開催した。人間では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	・地域活動協議会テーマ別勉強会を開催した(6回) ・住民の地域活動への参加促進ため、 広報紙や区HP、区役所庁舎において 地域活動を紹介した。 ・補助金の実績報告を区尸に掲載した。 ・地域に報連営の支援を行った(広報 実施地域:10地域) ・地域活動協議会情報共有会を開催し				
	)中間支援統	組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに 応じて中間支援組織から支援を受け ていると感じている活動主体の割合	IC	[1-1-1] 自律的な地域運営を積極的に推進するため、中間支援組織と連携し、次の取組みを行う。・地域事情に精通したまちづくり支援員を、地域の要望に応じて地域の活動拠点場所に積極的に配置する。・地域公共人村制度などを活用したようで、地域公共人村制度などを活用したようで、地域公共人村制度などを活用といるといるとでは域ごとに開催連携や地域活動への住民の参加促進を支援する。とは、補助金の使途をと役所ボームページ等で公開する。・とは、補助金の使途をと役所ボームページ等で公開する。・・連営課題や活動等を各立り、地域活動協議会情報共有会(2回以上)を開催する。・・地域担当制の区役所職勤協議会情報共有会(2回以上)を開進する。・・地域担当制の区役所職勤協議会情報共有会(2回以上)を開進する。・・地域担当制の区役所職勤協議会情報共有会(2回以上)を開地域の関等と連携を図りながら、地域活動を支援する。・・地域活動に表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表	に合った支援を行っていると感じる地域 活動協議会の数:11地域活動協議会以 上	計算機が11地域活動協議会未満であれば、支援内容を再構築する。	平成26年度実績 ・地域活動協議会の運営を支援するため、中間支援組織のまちづくり支援員を地域の活動拠点に配置した。 ・各地域活動協議会間で活動の課題等を共有できる場として「地域づくり」をテーマとしたワークショップ形式のセミナーの実施し、また地域活動協議会情報大有会を開催した。 ・区役所ホームページにおいて、各地域活動協議会の規約・構成団体や事業施計画、補助金の使途、活動の公開された事業施計画、補助金の使途、活動の公開を表現した。・地域の情報発信を支援するため、各地域活動協議会のフェイスブック立ち上げまり間にある。	リ支援員を配置した。 ・地域活動協議会デーマ別勉強会を開催した(6回) ・住民の地域活動のの参加促進ため、広報紙や区 P.P. 区役所庁舎において地域活動を紹介した。 ・補助金の実績報告を区尸に掲載した。 ・地域広報運営の支援を行った(広報実施地域:10地域) ・地域活動議会情報共有会を開催し				

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(西区) 平成27年度 豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針 めざす成果および戦略 計画 自己評価 戦略のアウトカムに 対する有効性 戦略の 進捗状況 成果指標と目標値 個別 全体 項目 今後の対応方向 めざす状態 アウトカム 戦略 アウトカムの達成状況 課題 前年度 A·順調 改善策 ア: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、戦略を見直す B:順調でない 2 「自律した自治体型の区政運営」に向けて (1) 区における住民主体の自治の実現 ・区民の皆さんの様々な意見や要望が、区役所 に届いていると思う区民の割合:平成27年度ま でに50%以上 でに50%以上 区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の 意見やニーズを的確に把握し、区民の声が区 政に反映されるとともに、区民から区政運営の 評価をしてもらえる仕組みづくりを行う。 自分の意見が区役所に届いたと実感する区民 区役所が、区民の様々な意見や要 区民の意見等が反映された取組みや、区政を区政会議について区民にわかりやすく広報する 望を聞くなど、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合: 27.8% 評価してもらうための仕組みの情報が区民に十 分に届いていないものの、区民の様々な意見や 要望を区政連営に反映するよう努めていると思 う区民の割合は増加しており、引き続き取組内 を増やす 容を精査しながら積極的に情報発信していて とにより、自分の意見が区役所に届いたと実感 する区民を増やしていく。 区役所が、区政運営について区民 の意見や要望を反映していると思う 区民の割合 ァ 21.1% В В に 60%以上 10-9-7 ・個性的な魅力あふれるまちづくりの実現に向・・地域住民に加え、企業やNPOなどがまちの活・区民に区に対する誇りや愛着を持ち続けてい 地域住民に加え、企業やNPOなど 様々な活動主体と区が連携して進めている取組区政情報や区の魅力が届いていると区民に実 ・地域住民に加え、企業やNP Oなどがまちの活・区民に区に対する誇りや愛着を持ち続けてい性化化協力し、区のイメージがさらに向上したとただくために、様々なステークホルダー(活動主感じる区民の割合・平成27年度までに60%以上体)と区が連携して進めている取組みを戦略的に発信し、区に対する理解と愛着を喚起する。また、区民に情報が伝わることによって、区民自ら西区情報を発信してもらい、区外の住民にとって住みたい、住み続けたいというイメージを定着させる。・スマートフォンの普及に対応したアプリケーションを運用し、ICTを活用した積極的な情報発信を行う。 様々な活動主体と区が埋焼し、進めている収組区 政情報や区の魅力が届けていると区民に美 み等の情報が区民に十分に伝わっておらず、区 酸してもらうため、区民アンケートや区政会議等 に対する理解と愛着が喚起されていないもの の、情報発信の手法を精査しながら地道に継続、分析し、区民ニーズに応じた戦略的な情報発信 することにより、個性的な魅力あふれるまちづく につながる取組みを実施する。また、情報誌が 切への取組みに対する区民の理解につなげて 幅広く区民に届くよう、発行の手法を見直す。 けて動き出していると感じる区民を増やす。 がまちの活性化に協力し、区のイメージがさらに向上したと感じる区民 の割合:15% ア 多様な区民の意見やニー プズの的確な把握と区政情報の発信 14-11 区長が進めている特色ある施策・事業を多くの 区民が知っている 区民が知っている と、区の特性や地域実情に応じた取組が行われ ていると思う区民の割合:平成27年度までに 50%以上 と、日民からの様々な相談や要望に適切に対応するため のインターフェース(仲介)機能を拡充し、個性 区の特性に応じた個性あふれる区政運営の取 広報紙ポスティング制度の周知拡大に努めると 区役所が重点的に取り組むべき内容 温みや成果に関する情報アウトカムの達成状 況前年度個別全体を、一人でも多くの区民に 届け、実感しても5う工夫が必要である。 1870年度 1870年 が積極的に行われていると思う区民 の割合:27.0% あぶれる区政運営が進められていることについて区民に理解してもらうため、取組みや成果について区長自ら積極的に発信する。 り組む。 30.7% 区の様々な取組(施策・事業・イベン H29年度まで トなど)の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民 60%以上 区民の意見等が反映された取組みや、区政を評価してもうための仕組みの情報が区民に十分に届いていないものの、区民の様々な意見や安望を区政運営に反映するよう努めていると思う区民の割合は増加しており、引き続き取組内容を精査しながら積極的に情報発信していくこ ・区民の皆さんの様々な意見や要望が、区役所 に届いていると思う区民の割合:平成27年度ま でに50%以上 区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の 意見やニーズを的確に把握し、区民の声が区 政に反映されるとともに、区民から区政運営の 評価をしてもらえる仕組みづくりを行う。 自分の意見が区役所に届いたと実感する区民 を増やす 区役所が、区民の様々な意見や要望を聞くなど、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合: とにより、自分の意見が区役所に届いたと実感 する区民を増やしていく。 ア 21.1%

	の形成に向けた区政運営基本						平成27年度				
				計	· <b>m</b>		具体的取組		自己評価		
項目	成果指標と目標値	直	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの 実績	取組実績	業績目標の達成状  :目標達成()取組は予定とおり実施()  :目標達成()取組は予定とおり実施()取組は予定とおり実施()取組は予定とおり実施()取組は予定とおり実施()	沢 戦略に対する 取組の有効性  収組を予定どおり実施 :有効 ×:有効 ×:有効でないため見	課題	改善策
2 「自律した自治体型の	区政運営」に向けて							施しなかった : 撤退基準未達成	直す		
(1) 区における住民主体の	自治の実現		[4-2-1] ・地域活動協議会からの推薦委員等により構成される西区区政会議を2回以上開催する。 ・会議でいただいた意見を次年度の運営方針や予算、当年度の施策等に活かすとともに、意見に対する区の考えや運営方針への反映状況を、広区民に知ってもらうため、ホームページ等へ掲出する。	いただいた意見を運営方針等へ反映した 項目:16項目以上	目標が2項目以下であれば、事業手法を再構築する。	区政会議3回開催(予定)、施策等への反映項目数16項目(予定) 平成25年度実績	・区政会議3回開催(各回とも、会議でいただいた意見への区の考え方・回答を取りまとめて委員に送付し、ホームベージで要旨を公開するとともに、運営方針や予算、当年度の施策等に活かした。) ・区の具体的な取組みを委員にご理解いただき、会議における活発な意見交換を期するため、事業説明会を開催(6/24防災、3/24情報発信)		( )	平成27年10月より委員数が大幅に増 員され、地域の抱える様々な課題や多 岐にわたる区の施策について、限られ た時間の中で、より効率良く、有意義な 意見交換を行っていただく必要がある。	見をいただき、区の基本的な考え方を 前もって示しておくことで、当日の意見
	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う 区民の割合	60%以上	[4-2-2] ・無作為抽出による区民へのアンケート を3回以上実施し、アンケート結果はホームページ等で公表する。 ・区民の方からいただいた意見等に対する区の対応や考え方について、広く情報発信できていないことから、主なご意見等への対応について、庁内掲示やホームページへの掲載を行い、たけ、を進める。・区長が区内で様々な活動を行っている団体等を訪問し、直接区民の方とは話し合い、多様な意見やニーズを把握し区政に反映する。	区役所に届いていると思う区民の割合:50%以上	目標が50%未満であれば、事業手法を 再構築する。	平成26年度実績 ・区民モニターアンケート 3回実施 ・区民モニターアンケートの「見える化」 4回実施 ・区長「ぶらっと訪問」 10回 平成25年度実績 ・区民モニターアンケート 4回実施 ・窓口来庁者アンケート 3回実施 ・区民(ぶらっと訪問」16回 ・区民(がらっと訪問」16回 ・区民(がらっと訪問」16回 ・区民(がらっと訪問」170回	・区民モニターアンケートの「見える化」 5回実施	区役所が、区民の様々な意見や要望を聞くなど、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合: 27.8%	×	業績目標が未達成であった原因については、様々な意見や要望が、区役所に届いているかかどうかについて、区民のみなさまへ判断材料を提供できたり、ないことであると考えられるため、長り要望を反映した取組について、より多くの区民に認識していただくこが必要である。区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合は、一昨年および昨年と比べ増加しており、取組の方向性は戦略に合致していると考えられる。	の公表方法の改善や、区民の声を受けて行った取組について、区民モニターアンケート実施時期に広報を行うなど、区 民からの意見や要望を反映した取組について、よりわかりやすい形で区民へ
多様な区民の意見やこ ⑦ ズの的確な把握と区的 報の発信			[3-4-1] 広報紙等による区の魅力や地域情報など情報発信の強化 ・区広報紙(毎月)、区ホームページ(随時)、区フェイスブック(月60件)、LINE (月4件)・区の魅力を発信するためのスマートフォンアブリによるICTを活用した情報発信 (12回)・区の魅力や多彩な人材を発信する情報誌「にっしー」を民間事業者と共同発行 (年2回)		目標が35%以下であれば、事業を再構築する。	平成26年度実績 ・区広報紙による発信 毎月 ・区フェイスブックによる発信 720回 ・LINEによる発信48件 ・区スマートフォンアブリを活用した情報 発信12回 ・情報誌の発行 2回(予定)	・区広報紙(毎月)、区ホームページ(随時)、区フェイスブック(月平均47件)、LINE(月平均6件)、スマートフォンアブリ(月1回)による情報発信・スマートフォンアブラリーカーションア・ア・スマートフォンアブリンでは、アームでは、アームでは、アーなどでは、アームページの大がよりでは、アームページの大がよりでは、アームページの大がよりでは、アームページの大がよりでは、アームページの大がも関係の関連を追加、・ボームページの大がも関係の関係が、不らながる取組みを実施(12回)・区の魅力や多彩な人材を発信する情報話(につながる取組みを実施(12回)・区の魅力や多彩な人材を発信する情報話(につながる取組みを実施(12回)・区の魅力や多彩な人材を発信する情報は「こっ」を民間事業者と大時に、特集に因んだイベントも開催(それぞれ年2回)	知ることができたと感じる区民の割 合:33%	×	用者等は大幅に増加しており、戦略的 かつ継続的に情報を発信していくことに より、区政情報が届いているという区民 の実感につなげる必要がある。	力が、区民に届いていると実感してもらうため、情報発信にかかる区民ニーズについて、区民アンケートや区政会議等を活用して調査・分析し、区として積極的に伝えていくべき内のをや手法を媒体別に検証することにより、事業手法の再構築を図る。、 媒体別に利用実績を検証し、今後の
	区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合	H29年度まで	[4-1-1] 区の特性に応じた個性あふれる区政運営の取組みや成果について、反仮報紙やボーベージ等様々な媒体を活用し、区長メッセージを発信し、区政運営に対する区民の理解を得る。 (を長メッセージを広報紙(12回)、区ホームベージ[12回]、区長ツイッター、西区フェイスブックで発信する。 (48回)・台課と連携し、区の施策やイベント情報等を報道機関へ効果的に提供する。	区の特性や地域実情に応じた取組が行われていると思う区民の割合:50%以上	目標が50%未満であれば、事業手法を 再構築する。	平成26年度実績 ・区広報紙での区長メッセージ掲載 12 回(予定) ・区ホームページでの区長メッセージ 12 回(予定) ・LiNEによる区の取組み発信 48回(予定) ・区長「ぶらっと訪問」10回(予定) 平成25年度実績 区の特性や地域実情に応じた取組が行われていると思う区民の割合35%	・区の特性に応じた個性あふれる事業や施策について、各課と連携しながら、広報紙の表紙写真及び特集面における関係者インタビュー等によりわかりやすく紹介するとともに、ホームベージにおいて区長メッセージとして発信した。(12回)・区のさまざまな取組み・イベント情報等について、区フェイスブック(月平均47件)、LINE(月平均6件)により発信。	が積極的に行われていると思う区民	×	広報紙の特集面(区長ページ)は、区民の目を引(分かりやすい紙面構成・内容となっており、区民のまちづ(リへの共感を喚起し、区政運営に対する区民の理解を得るうえで効果的な手法であった。しかし、区の特性や地域実情に応じた取組が行われていると思う区民の割合は昨年度より減少しており、区のさまざまな取組みに関する情報が区民にいき届いていない。	人でも多くの区民に届け、実感してもらえるよう、広報紙ポスティング制度の周知拡大に努めるとともに、情報発信にかかる区民ニーズについて、区民アンケートや区政会議等を活用して調査・分析し、区として積極的に伝えていいべ
			[4-2-1] ・地域活動協議会からの推薦委員等により構成される西区区政会議を2回以上開催する。 ・会議でいただいた意見を次年度の運営方針や予算、当年度の施策等に活かすとともに、意見に対する区の考えや運営方針への反映状況を、広く区民に知ってもらうため、ホームページ等へ掲出する。	いただいた意見を運営方針等へ反映した 項目:16項目以上	目標が2項目以下であれば、事業手法を 再構築する。	平成26年度実績 区政会議3回開催(予定)、施策等への反映項目数16項目(予定) 平成25年度実績 区政会議2回開催、施策等への反映項目 数16項目	・区政会議3回開催(各回とも、会議で いただいた意見への区の考え方・回答 を取りまとめて委員に送付し、ホーム ページで要旨を公開するとともに、運営 方針や予算、当年度の施策等に活かした。 ・区の具体的な取組みを委員にご理解 いただき、会議における活発な意見交 換を期するため、事業説明会を開催 (6/24所災、3/24情報発信)	いただいた意見を運営方針等へ反映 した項目:31項目	( )		見をいただき、区の基本的な考え方を
			[4-2-2] ・無作為抽出による区民へのアンケート ・無作為抽出による区民へのアンケート を3回以上実施し、アンケート結果はホームページ等で公表する。 ・区民の方からいただいた意見等に対す る区の対応や考え方について、広、情報 発信できていないことから、主なご意見等 への対応について、庁内掲示やホーム ページへの掲載を行い、区民からのご意見の「見える化」を進める。 ・区長が区内で様々な活動を行っている 団体等を訪問し、直接区民の方々と話し 合い、多様な意見やニーズを把握し区政 に反映する。	区役所に届いていると思う区民の割合: 50%以上	目標が50%未満であれば、事業手法を 再構築する。	平成26年度実績 ・区民モニターアンケート 3回実施 ・区民モニターアンケートの「見える化」 4回実施 ・区長「ぶらっと訪問」 10回 平成25年度実績 ・区民モニターアンケート 4回実施 ・区民モニターアンケート 3回実施 ・区長「ぶらっと訪問」 16回 ・区長「ぶらっと訪問」 16回 ・区民の皆さんの様々な意見や要望が、区役所に届いていると思う区民の割合 11%	・区民モニターアンケートの「見える化」 5回実施	区役所が、区民の様々な意見や要望を聞くなど、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合: 27.8%	×		の公表方法の改善や、区民の声を受けて行った取組について、区民モニターアンケート実施時期に広報を行うなど、区民からの意見や要望を反映した取組について、よりわかりやすい形で区民へ

	以来日標の達成に回じ		WILL DATE (FIE)				平成27年度					
量かな地域社会の形	成に向けた区政運営基本方	7 武				めざ	す成果および戦略					
				計画						自己評価		
項目	成果指標と目標値		めざす状態	70.4.	戦略	戦略のアウトカムに 対する有効性	7-1-10-2-1-10-2		個別 全体	戦略の 進捗状況	課題	今後の対応方向
			のこり仏感	アウトカム	半戈 叩音	ア: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、戦略を見直す	アウトカムの達成状況	前年度	A:順調 B:順調でない	a:順調 b:順調でない	<b></b>	改善策
			[3-4] ・個性的な魅力あふれるまちづくりの実現に向けて動き出していると感じる区民を増やす。		ただくために、様々なステークホルダー(活動主		地域住民に加え、企業やNPOなどがまちの活性化に協力し、区のイメージがさらに向上したと感じる区民の割合:15%		ВВВ	b	様々な活動主体と区が連携して進めている取組み等の情報が区民に十分に伝わっておらず、区に対する理解と愛着が喚起されていないもの、情報発信の手法を精査しながら地道に継続することにより、個性的な魅力あぶれるまちづくりへの取組みに対する区民の理解につなげていく。	感してもらうため、区民アンケートや区政会議等 を活用し、区の情報発信に関する実態を調査・ 分析し、区民ニーズに応じた戦略的な情報発信 につながる取組みを実施する。また、情報誌が
ラ ズの的確な把握と区政情 おの発信	区の様々な取組(施策・事業・イベン) トなど)に関して、あなたの必要とす る情報が伝えられていると感じる区 民の割合		区民が知っている	50%以上	区長自らの権限と責任に基づき、地域実情や特性に応じた区政運営を進めるとともに、区民からの様々な相談や要望に適切に対応するためのインターフェース(仲介)機能を拡充し、個性あふれる区処運営が進められていることについて区民に理解してもらうため、取組みや成果について区民に理解してもらうため、取組みや成果について区長自ら積極的に発信する。		区役所が重点的に取り組むべき内容が積極的に行われていると思う区民の割合:27.0%	30.7%	ВВВ	b	区の特性に応じた個性あぶれる区政運営の取組みや成果に関する情報アウトカムの達成状況 前年度 個別 全体を、一人でも多くの区民に届け、実感してもらう工夫が必要である。	ともに、情報媒体別に利用実績や区民ニーズを
			[4-2] 自分の意見が区役所に届いたと実感する区民 を増やす	・区民の皆さんの様々な意見や要望が、区役所に届いていると思う区民の割合:平成27年度までに50%以上			区役所が、区民の様々な意見や要望を聞(など、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合: 27.8%				区民の意見等が反映された取組みや、区政を評価してもらうための仕組みの情報が区民に十分に届いていないものの、区民の様々な意見や要望を区政運営に反映するよう努めていると思う区民の割合は増加しており、引き続き取組内容を精査しながる積極的に情報発信していくことにより、自分の意見が区役所に届いたと実感する区民を増やしていく。	とともに、区民モニターアンケートの「見える化」 の公表方法の改善や、区民の意見や要望を反
						7		21.1%	ВВВ	b		

	成来日保の建成に同じ     成に向けた区政運営基本7		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				平成27年度				
	I						具体的取組				
				計 	†画 			自己	評価		
項目	成果指標と目標値	Ī	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの	取組実績	業績目標の達成状況 :目標達成()取組は予定どおり実施()取組を予定どおり実施	戦略に対する 取組の有効性	課題	改善策
				XPX H IA	IBACE T	実績	77. Mail	:目標未達成 ( )取組は予定とおり実施 ( )取組を予定とおり実 × 施しなかった : 撤退基準未達成	: 有効 : : 有効でないため見 直す		MAX
			(3-4-1) 広報紙等による区の魅力や地域情報など情報発信の強化・区広報紙(毎月)、区ホームページ(随時)、区フェイスブック(月60件)、LINE (月4件)・区の魅力を発信するためのスマートフォンアブリによるICTを活用した情報発信(12回)・区の魅力や多彩な人材を発信する情報誌「につしー」を民間事業者と共同発行(年2回)	区からの情報発信により区の魅力を知ることができたと感じる区民の割合:60%以上	目標が35%以下であれば、事業を再構築する。	・LINEによる発信48件 ・区スマートフォンアプリを活用した情報 発信12回 ・情報誌の発行 2回(予定)	・区広報紙(毎月)、区ホームページ(随時)、区フェイスブック(月平均47件)、LINE(月平均6件)、スマートフォンアブリ(月1回)による情報発信・スマートフォンアブリのコンテンツ充実のため、「にし恋マルシェ」と連携したクイズラリーサイトを試験的に追加し、ビーコン機能等について検証するとともに、子育で支援サイトとして予防接種歴の管理機能を追加、ホームイング制度の周知及びアンケートなど、区民ニーズに応じた情報発信につながる取組みを実施(12回)・区の魅力や多彩な人材を発信する情発活につながる取組みを実施(12回)・区の魅力や多彩な人材を発信する情報誌「につし、巨の魅力や多彩な人材を発音する情報誌「につし、手集に因んだイベントも開催(それぞれ年2回)	知ることができたと感じる区民の割 合:33%	×	度の32%から増加しているものの、区の取り組みについて情報発信は十分だと思う割合は昨年度から減少しており、区政に関する情報が区民にいき届いていない、各情報発信媒体の閲覧数、利用者等は大幅に増加しており、戦略的かつ継続的に情報を発信していくことに	力が、区民に届いていると実感してもらうため、情報発信にかかる区民ニーズについて、区民アンケートや区政会議等を活用して調査・分析し、区として積極的に伝えていくべき内容や手法を媒体別に検討することにより、事業手法の再構築を図る。・「媒体別に利用実績を検証し、今後の動向や区民ニーズを十分に調査したうえて、各課と連携を密にして各コンテン
多様な区民の意見やニー ズの的確な把握と区政情 報の発信	区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合		[4-1-1] 区の特性に応じた個性あぶれる区政運営の取組みや成果について、区広報紙やホームページ等様々な媒体を活用し、区長メッセージを発信し、区政運営に対する区民の理解を得る。・区長メッセージを広報紙(12回)、区ホームページ(12回)、区長ツイッケー、西区フェイスブックで発信する。(48回)・各課と連携し、区の施策やイベント情報等を報道機関へ効果的に提供する。		目標が50%未満であれば、事業手法を再構築する。	回(予定) ・区ホームページでの区長メッセージ 12 回(予定) ・上、NEによる区の取組み発信 48回(予定) ・区長「ぶらっと訪問」10回(予定) 平成25年度実績 区の特性や地域実情に応じた取組が行	・区の特性に応じた個性あぶれる事業や施策について、各課と連携しながら 広報紙の表紙写真及び特集面における関係者インタビュー等によりわかりでく紹介するとともに、ホーベージに おいて区長メッセージとして発信した。(12回)・(12回)・(20まざまな取組み・イベント情報等について、区フェイスブック(月平均47件)、LINE(月平均6件)により発信。	が積極的に行われていると思う区民	×	の目を引く分かりやすり紙面構成・内容となっており、区民のまちづくりへの 共感を喚起し、区政運営に対する区民 の理解を得るうえで効果的な手法で あった。しかし、区の特性や地域実情に 応じた取組が行われていると思う区民	人でも多くの区民に届け、実感してもらえるよう、広報紙ポスティング制度の周知拡大に努めるとともに、情報発信にかかる区民ニーズについて、区民アンケートや区政会議等を活用して調査・分析し、区として積極的に伝えていくべ
			[4-2-1] ・地域活動協議会からの推薦委員等により構成される西区区政会議を2回以上開催する。 ・会議でいただいた意見を次年度の運営方針や予算、当年度の施策等に活かすとともに、意見に対する区の考えや運営方針への反映状況を、広く区民に知ってもらうため、ホームページ等へ掲出する。		: 目標が2項目以下であれば、事業手法を 再構築する。	区政会議3回開催(予定)、施策等への反映項目数16項目(予定) 平成25年度実績 区政会議2回開催、施策等への反映項目 数16項目	・区政会議3回開催(各回とも、会議でいただいた意見への区の考え方・回答を取りまとめて委員に送付し、ホームページで要旨を公開するとともに、運営方針や予算、当年度の施策等に活かした。) ・区の具体的な取組みを委員にご理解いただき、会議における活発な意見交換を期するため、事業説明会を開催(6/24防災、3/24情報発信)			平成27年10月より委員数が大幅に増 員され、地域の抱える様々な課題や多 岐にわたる区の施策について、限られ た時間の中で、より効率良く、有意義な 意見交換を行っていただく必要がある。	見をいただき、区の基本的な考え方を 前もって示しておくことで、当日の意見
			[4-2-2] ・無作為抽出による区民へのアンケート ・無作為抽出による区民へのアンケート を3回以上実施し、アンケート結果はホームページ等で公表する。 ・区民の方からいただいた意見等に対する区の対応や考え方について、広く情報 発信できていないことから、主なご意見等 への対応について、庁内掲示からのご意見の「見える化」を進める。 ・区長が区内で様々な活動を行っている団体等を訪問し、直接区民の方々とに対し、多様な意見やニーズを把握し区政に反映する。		目標が50%未満であれば、事業手法を 再構築する。	・区民モニターアンケート 3回実施	5回実施	区役所が、区民の様々な意見や要望を聞くなど、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合: 27.8%	×	届いているかかどうかについて、区民 のみなさまへ判断材料を提供できてい	の公表方法の改善や、区民の声を受けて行った取組について、区民モニターアンケート実施時期に広報を行うなど、区民からの意見や要望を反映した取組について、よりわかりやすい形で区民へ

	成果目標の達成に向1 %成に向けた区政運営基本が						平成27年度					
豆刀。包括这种云	/城に同けた区域建占金本/	/」业1				めさ	す成果および戦略					
				計画						自己評価		
項目	成果指標と目標値	<u> </u>	めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに 対する有効性 ア: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、戦略を見直す	アウトカムの達成状況	前年度	個別 全体 A:順調	世報略の 進捗状況 a:順調	課題	今後の対応方向 ・ 改善策
						イ: 有効でないため、戦略を見直す			B:順調でない	b:順調でない		
	区役所が、区の様々な取組(施策・ 事業・イベントなど)について、それら の企画・計画段階において、区民の 意見や要望を反映していると思う区 民の割合	H29年度まで に	[4-2] 自分の意見が区役所に届いたと実感する区目 を増やす	・区民の皆さんの様々な意見や要望が、区役所 に届いていると思う区民の割合:平成27年度までに50%以上	区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の意見やニーズを的確に把握し、区民の声が区政に反映されるとともに、区民から区政連営の評価をしてもらえる仕組みづくりを行う。	P	区役所が、区民の様々な意見や要望を聞くなど、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合: 27.8%	21.1%	ВВ	b	区民の意見等が反映された取組みや、区政を評価してもらうための仕組みの情報が区民に十分に届いていないものの、区民の様々な意見や要望を区域増にしまり、引き続き取組内であり、引き続き取組内容を精査しながら積極的に情報発信していくことにより、自分の意見が区役所に届いたと実感する区民を増やしていく。	の公表方法の改善や、区民の意見や要望を反
	区役所が、区の様々な取組(施策 事業・イベントなど)について、それら の終了時に意見を聞くなど、区民か らの評価を受け、これらを区域連営 の改善につなげていると思う区民の		[4-2] 自分の意見が区役所に届いたと実感する区目 を増やす	と・区民の皆さんの様々な意見や要望が、区役所 に届いていると思う区民の割合:平成27年度までに50%以上	区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の意見やニーズを的確に把握し、区民の声が区政に反映されるとともに、区民から区政運営の評価をしてもらえる仕組みづくりを行う。	7	区役所が、区民の様々な意見や要望を聞くなど、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合: 27.8%	21.1%	ВВВ	b	区民の意見等が反映された取組みや、区政を評価してもらうための仕組みの情報が区民に十分に届いていないものの、区民の様々な意見や要望を区政運営に反映するよう努めていると思う区民の割合は増加しており、引き続き取組内容を精査しながら積極的に情報発信してしたより、自分の意見が区役所に届いたと実感する区民を増やしていく。	の公表方法の改善や 区民の音目や要望を反
	割合											

<u> </u>		<u> 成来日標の達成に回Ⅰ</u> 成に向けた区政運営基本7		proble 501 C ( EE)				平成27年度				
	豆5 多心观性公07.	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	J 12 1					具体的取組				
					計	画				自己評価		
	項目	成果指標と目標値	<u>ī</u>	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの 実績	取組実績	業績目標の達成 :目標達成()取組は予定さわり実施() :目標未達成()取組は予定さわり実施() 施しなかった : 微認基準未達成	取組を予定どおり実施	課題	改善策
		区役所が、区の様々な取組(施策・		(4-2-1) ・地域活動協議会からの推薦委員等により構成される西区区政会議を2回以上開催する。・・会議でいただいた意見を次年度の運営方針や予算、当年度の施策等に活かすとともに、意見に対する区の考えや運営方針への反映状況を、広く区民に知ってもらうため、ホームページ等へ掲出する。	いただいた意見を運営方針等へ反映した 項目:16項目以上	再構築する。		・区政会議3回開催(各回とも、会議でいただいた意見への区の考え方・回答を取りまとめて委員に送付し、ホームページで要旨を公開するとともに、運営方針や予算、当年度の施策等に活かした。)・区の具体的な取組みを委員にご理解いただき、会議における活発な意見交換を期するため、事業説明会を開催(6/24防災、3/24情報発信)		( )	平成27年10月より委員数が大幅に増 員され、地域の抱える様々な課題や多 岐にわたる区の施策について、限られ た時間の中で、より効率良く、有意義な 意見交換を行っていただく必要がある。	見をいただき、区の基本的な考え方を 前もって示しておくことで、当日の意見 交換をより有意義なものとするほか、重
		広设が、近の旅々ない起(応速) 事業・イベントなど)について、それら の企画 計画段階において、区民の 意見や要望を反映していると思う区 民の割合	60%以上	(4-2-2) ・無作為抽出による区民へのアンケートを3回以上実施し、アンケート結果はホームページ等で公表する。 ・区民の方からいただいた意見等に対する区の対応や考え方について、広〈情報発信できていないことから、主なご意見がへの対応について、庁内掲示やホームページへの掲載を行い、区民からのご、足長が区ので様々な活動を行っている団体等を訪問し、直接区民の方々と話し合い、多様な意見やニーズを把握し区政に反映する。	区役所に届いていると思う区民の割合: 50%以上	目標が50%未満であれば、事業手法を 再構築する。	平成26年度実績 ・区民モニターアンケート 3回実施 ・区民モニターアンケートの「見える化」 4回実施 ・区長 「ぶらっと訪問」 10回 ・区長 「ぶらっと訪問」 10回 ・区民モニターアンケート 4回実施 ・区民モニターアンケート 3回実施 ・区民・ボらっと訪問」 16回 ・区民の皆さんの様々な意見や要望が、区代所に届いていると思う区民の割合	<ul><li>区民モニターアンケートの「見える化」</li><li>5回実施</li></ul>	区役所が、区民の様々な意見や要望を聞など、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合: 27.8%	×	業績目標が未達成であった原因については、様々な意見や要望が、区役所に届いているかかどうかについて、区民のみなさまへ判断材料を提供できていないことであると考えられるため、意見や要望を反映した取組について、より多くの区氏に認識していただくとが必要である。区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合は、一昨年および昨年と比べ増加しており、取組の方向性は戦略に合致していると考えられる。	の公表方法の改善や、区民の声を受けて行った取組について、区民モニターアンケート実施時期に広報を行うなど、区 民からの意見や要望を反映した取組について、よりわかりやすい形で区民へ
	② 区民の参画と協働による 区政運営	区役所が、区の様々な取組(施策・		[4-2-1] ・地域活動協議会からの推薦委員等により構成される西区区政会議を2回以上開催する。 ・会議でいただいた意見を次年度の運営方針や予算、当年度の施策等に活かすとともに、意見に対する区の考えや運営方針への反映状況を、広〈区民に知ってもらうため、ホームページ等へ掲出する。	いただいた意見を運営方針等へ反映した 項目:16項目以上	再構築する。	平成26年度実績 区政会議3回開催(予定)、施策等への反映項目数16項目(予定) 平成25年度実績 区政会議2回開催、施策等への反映項目数16項目	・区政会議3回開催(各回とも、会議でいただいた意見への区の考え方・回答を取りまとめて委員に送付し、ホームページで要旨を公開するとともに、運営方針や予算、当年度の施策等に活かした。)・区の具体的な取組みを委員にご理解いただき、会議における活発な意見交換を期するため、事業部明会を開催(6/24防災、3/24情報発信)	いただいた意見を運営方針等へ反映 した項目:31項目	( )	平成27年10月より委員数が大幅に増 員され、地域の抱える様々な課題や多 岐にわたる区の施策について、限られ た時間の中で、より効率良く、有意義な 意見交換を行っていたたく必要がある。	見をいただき、区の基本的な考え方を 前もって示しておくことで、当日の意見 交換をより有意義なものとするほか、重
		事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合	H29年度まで に 60%以上	[4-2-2] 無作為抽出による区民へのアンケートを3回以上実施し、アンケート結果はホームページ等で公表する。 「区民の方からいただいた意見等に対する区の対応や考え方について、広く情報発信できていないことから、主なご意見等への対応について、庁内掲示やホームページへの掲載を行い、区民からのご意見の「見える化」を進める。 「区長が区内で様々な活動を方方々と話し合い、多様な意見やニーズを把握し区政に反映する。		目標が50%未満であれば、事業手法を 再構築する。	平成26年度実績 ・区民モニターアンケート 3回実施 ・区民モニターアンケートの「見える化」 4回実施 ・区長「ぶらっと訪問」 10回 平成25年度実績 ・区民モニターアンケート 4回実施 ・窓日来庁者アンケート 3回実施 ・区長「ぶらっと訪問」 16回 ・区長の首さんの様々な意見や要望が、区役所に届いていると思う区民の割合 11%	・区民モニターアンケートの「見える化」 5回実施	区役所が、区民の様々な意見や要望を聞いなど、区政の運営に反映するよう努めていると思う区民の割合: 27.8%	×	業績目標が未達成であった原因については、様々な意見や要望が、区役所に届いているかかどうかについて、区民のみなさまへ判断材料を提供できて記しないことであると考えられるため、意見や要望を反映した取組について、より多の区民に認識堂について区との意見や要望を反映していると思う区民の割合は、一昨年および昨年と比べ増加しており、取組の方向性は戦略に合致していると考えられる。	の公表方法の改善や、区民の声を受けて行った取組について、区民モニターアンケート実施時期に広報を行うなど、区 民からの意見や要望を反映した取組について、よりわかりやすい形で区民へ

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(西区) 平成27年度 豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針 めざす成果および戦略 計画 自己評価 戦略の 進捗状況 戦略のアウトカムに 対する有効性 項目 成果指標と目標値 個別 全体 今後の対応方向 めざす状態 アウトカム 戦略 アウトカムの達成状況 課題 前年度 ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す A:順調 B:順調でない a:順調 b:順調でない 改善策 (2) 区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり (3) 区民が満足・納得できる区役所運営 区役所を過去1年間に訪れた区民の うち、来庁者への案内サービスや窓 口での応対が良いと感じた区民の割 合 けるサービス向上 区役所来庁者に対する窓口サービ スに係る民間事業者の覆面調査員 による調査(5点満点)での点数 【様式3 取組項目2】 区に関わる施策・事業について、目標とする成果を意識し、PDCAサイクルを徹底することで、 責任ある区政運営を進める。 

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針			平成27年度									
			具体的取組									
				計画				自己評価				
項目		成果指標と目標値		取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの 実績	取組実績	業績目標の達成状況  ・目標達成()取組は予定どおり実施()取組を予定どおり実施しなかった ・目標未達成()取組は予定とおり実施()取組を予定どおり実施()取組を予定どおり実施()取組を予定どおり実施()取組を予定がありません。	戦略に対する 取組の有効性 : 有効 ×: 有効でないため見 直す	課題	改善策
(2) 区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり												
	⑦ 区における市政の総合窓 口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度まで に	職場活性化PTでキーワードによる担当 と電話番号案内を平成27年度版に改正 し、「こんなとき」の間合せ・相談やららし の便利帳、民生委員児童委員担当区域 表保健福祉課」とともに職員間で情報共 有し、電話や来庁者からの問合せに対応 している。 また、窓口サービス課において、区役 所周辺等地図や届出別の手続き案内を 配布している。	区役所を利用した際、案内サービスや窓口や電話の応対について、良いと感じた区民の割合 80.2%(区政運営に関するアンケート調査の格付け結果)			職場活性化PTでキーワードによる担当と電話番号案内を平成27年度版に 改正し、「こんなとき」の問合せ・相談やくらしの便利帳、民生委員児童委員担当区域表(保健福祉課)とともに職員間で情報共有し、電話や来庁者からの問合せに対応している。また、窓口サービス課において、区役所周辺等地図や届出別の手続き案内を配布している。	区役所を利用した際、案内サービス や窓口や電話の応対について、良い と感じた区民の割合 80.2%(区政運 営に関するアンケート調査の格付け			現状、成果目標の数値に達していないが、今後も引き続き取り組みを継続する。
(3	区民が満足・納得できる区	☑ ☑役所運営										
	⑦ 庁舎案内や窓口業務にま けるサービス向上		H29年度まで に80%以上 H29年度まで	・住民情報担当窓口においてサービス改善による市民満足度の向上を図るため、PDCAサイクルにより各種取組みの進捗管理を行っている ・窓口サービス課における目標管理項目として、格付け星2個を目指した取組みを実施	・窓口格付け調査における星2個獲得平成27年度 区役所での職員の対応や窓口サービス			・受託事業者との意見交換、待合スペースの一部レイアウト変更等により、処理時間の短縮や待合時間の快適性の向上に努めた。 ・過去の略付けサービスでの指摘事項および職場での改善取組み策の共有(月1啓発回覧等)	・保険年金担当へ調査が入った結			・庁舎内に滞留しない待ち時間消化への誘導策等の検討(おおよその待ち時間表示など)
	区民が納税者の視点で 分 得できる効果的・効率的な 業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、 区の実情や特性に応じて、区役所の 取組が進められていることを知って いる区民の割合	H29年度まで に 60%以上	・施策目的の達成度を可能な限り数値化した上で、区長、副区長、各事業担当者によるPDCA検討会議を毎月実施し、事業の有効性や進捗状況をチェックレPDCAを徹底する。・区CM事業についてPDCA検討会議を実施し、区長の補助組製となる局の職員と区の特性や課題の共有化を図り、事業をチェックすることでPDCAを徹底する。・職員のPDCAにかかる意識向上をめざし、職員アンケートや研修等を実施する。	に取り組む職員の割合80%以上をめざす。		・運営方針作成研修 2回実施,研修に参加して、運営方針やPDCAの理解が深まった職員の割合77%	・区事業について、区長、副区長、担当課長・課長代理・係長が出席するPDC A検討会議を9回実施し、目標の達成度や事業の有効性等をチェックし、方向快等の検討を行った。また。各担当の係員の参加を促し、担当内での最識共有を図った。休会となる月も、PDCAサートで区長・副区長へ進捗状況の報告を行った。 ・区・M予算事業の中から16事業(6局)を抽出し、PDC A検討会議を3回実施し、局と区の意向を共有するとともに区M予算へ反映した。・PDC Aサイクルの理解を深めるため、各担当へチラシを配布するとともに、eフーニングを実施(70名)した。			かったものの、PDCAを意識して業務 に取組んでいる人の割合が、平成25年	